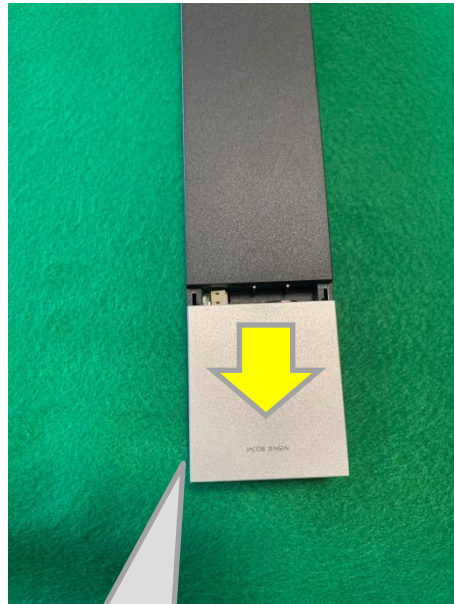


HT20D/HS20D 電池の入れ方

御注意: 初回充電時は最大3日程度充電して下さい。



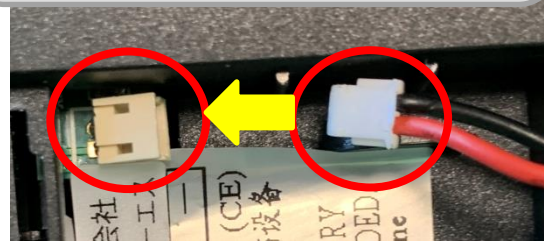
送受話器の下カバーを外します。軽く押しながら下の方向に動かします



ヒント: ゴムなどを使うと簡単



電池のコネクタを送受話器のコネクタに差し込み電池を格納します
黒い線を上にします



下カバー裏の爪を送受話器の四隅の穴に入れ、下カバーを上方向にスライドさせて元に戻します

HT20D/HS20D 電池とランプ表示

JACOB JENSEN™

①使用可能な電圧に達するまでMSGランプとBASE側面ランプは点滅を繰り返します



②通話可能なレベルに達するとMSGランプは消灯しBASE側面ランプのみ点灯に変わります。(バッテリーの放電状況によっては点滅が8時間以上続くことがあります。)MSGランプが消灯後、受話器を上げると受話器のONランプが点き通話可能な状態になります。



③更に充電を進め満充電状態後は回路を停止して過充電を防止するためBASEの側面ランプが消灯している時間が長くなり時折、短時間点灯する状態になります。



ご注意:十分に充電して下さい

②の状態を繰り返し(長時間)通話をしますと途中で切断される事があります。
障害物、親機と子機の距離が遠い場合などで途中で切断される事があります。

ニッケル水素電池：使用上のご注意

HT20D/HS20Dに使用している電池はニッケル水素電池です。

ニッケル水素電池は充電する事により繰り返し使える経済的な電池ですが、使い方により電池が本来の性能を発揮出来ず、電話機に不具合を発生させることがあります。

電話機の不具合の例としては以下の例があります。

- ・長時間の通話が出来なくなる(通話途中で切断される)
- ・充電が出来なくなる
- ・電池の寿命が短くなる



- ・電話を使用しない時は必ず本体に戻して充電して下さい
- ・長時間(10分以上)通話した場合は続けて通話せずに十分充電するようにして下さい
- ・通話終了後は本体に戻して下さい
- ・バッテリーランプが点灯した場合は電話機を使用せずに充電して下さい
- ・AC電源を切らないで下さい。
- ・長時間使用しない時はMUTEを5回押して電話機を休止状態にして下さい
- ・バッテリーランプ(低電圧表示)が消えない場合、電池を入れ直して下さい